

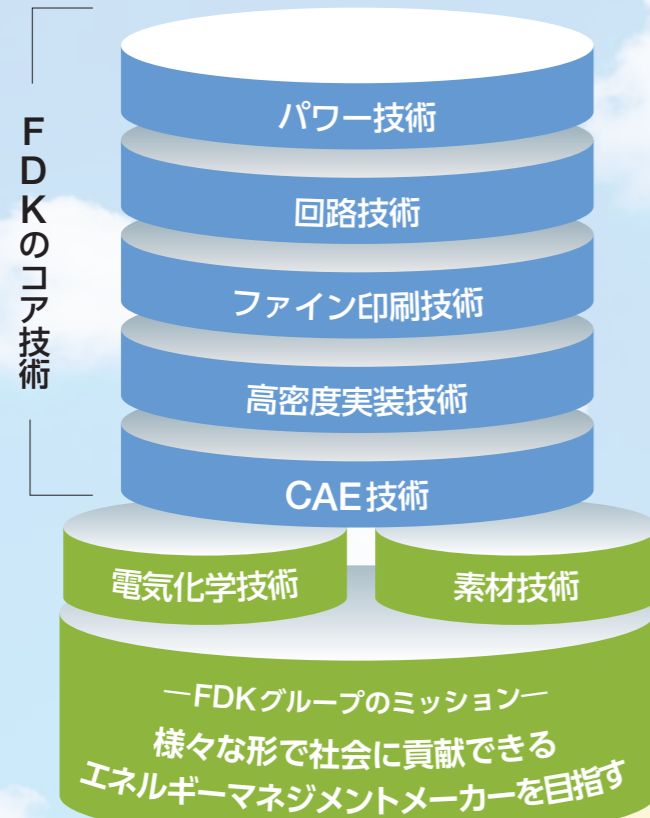
事業を通じたCSRによる

FDKグループは、CSR基本方針に基づく重点課題に継続して取り組むことによりグローバル企業として責任ある経営を推進し、これまで培ってきたコア技術をもとにした電池、電子製品、蓄電システム製品の開発・供給を通じて、社会課題の解決に貢献するFDKグループならではの価値をステークホルダーの皆様提供してまいります。

価値提供

ステークホルダーにもたらす価値

FDKのコア技術と強み



すべては「素材」から FDKのテクノロジー

「電気化学技術」「素材技術」は、FDKテクノロジーの原点です。このテクノロジーは、FDKの電池と電子製品の核となる「コア技術」を生み出し、さまざまな機器で活躍しています。「電気を創る（高効率エネルギー変換）、蓄える（蓄電）、賢く使う（省エネ）」時代に求められる高効率で安全な製品の提供のため「様々な形で貢献できるエネルギー管理メーカー」を目指してまいります。電池、電子製品の既存事業と、それぞれの保有技術のシナジーから生み出される蓄電システム製品などの「新開発事業」を新たなビジネスドメインに加え、それぞれのドメインを事業環境の変化に応じて柔軟に組み合わせることで、価値ある製品をご提供してまいります。

FDKの事業



すべての事業活動において地球と社会の持続可能な発展に貢献

重点課題への対応を通じてグローバル企業として責任ある経営を推進

安心の提供

お客様にご満足いただける電池、電子製品の開発・供給

環境への責任

3E（環境保全・省エネルギー・経済発展）による持続可能な循環型社会への貢献

* FDKグループは「お客様」「社員」「お取引先」「株主・投資家」「国際社会・地域社会」をステークホルダーとしています。

事業環境

CSR意識の高まり	市場成熟と中国企業の台頭による市場構造変化
製品品質・経営品質の重要性	省エネ政策推進に向けた法制化
資源価格の急変	車載テレマティクス機器の需要拡大
海外生産拠点での労務費高騰	

社会環境

社会インフラにおける安心安全ニーズの広がり
再生可能エネルギーの利用拡大と電力事業法改正による国内電力インフラの変化
世界人口の増加、国内人口減少および少子高齢化などの人口動態の変化

CSR活動における7つの重点課題

- 1 様々な形で社会に貢献する電池、電子製品を供給 ▶ P11
- 2 地球環境保全への対応 ▶ P13
- 3 多様性の受容 ▶ P15
- 4 地球と社会に貢献する人材の育成 ▶ P16
- 5 ステークホルダーとの対話と協力 ▶ P17
- 6 法の遵守 ▶ P18
- 7 コーポレート・ガバナンスの強化 ▶ P19